

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 日本製鉄㈱ 瀬戸内製鉄所 広畑地区

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

<所スローガン>

地域から信頼される製鉄所を目指して

<目標>

- ・「環境事項ゼロ」、「地域苦情ゼロ」の達成
- ・ゼロカーボンニュートラル社会への貢献

<重点項目>

1. 環境関連法、条例、協定等の徹底遵守
2. 大気・水質・ばい塵等の環境改善対策の推進
3. 全職員が一体となった環境保全活動の実施
4. 省エネルギー、省資源活動の推進

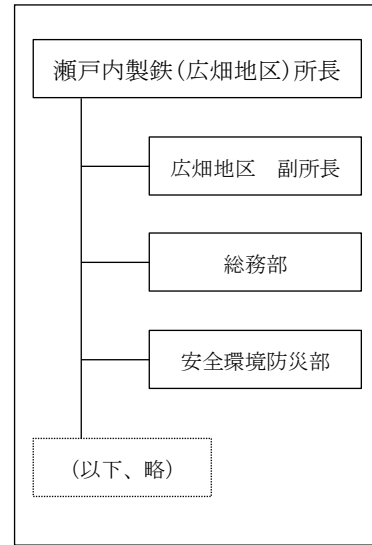
1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

令和5年1月1日

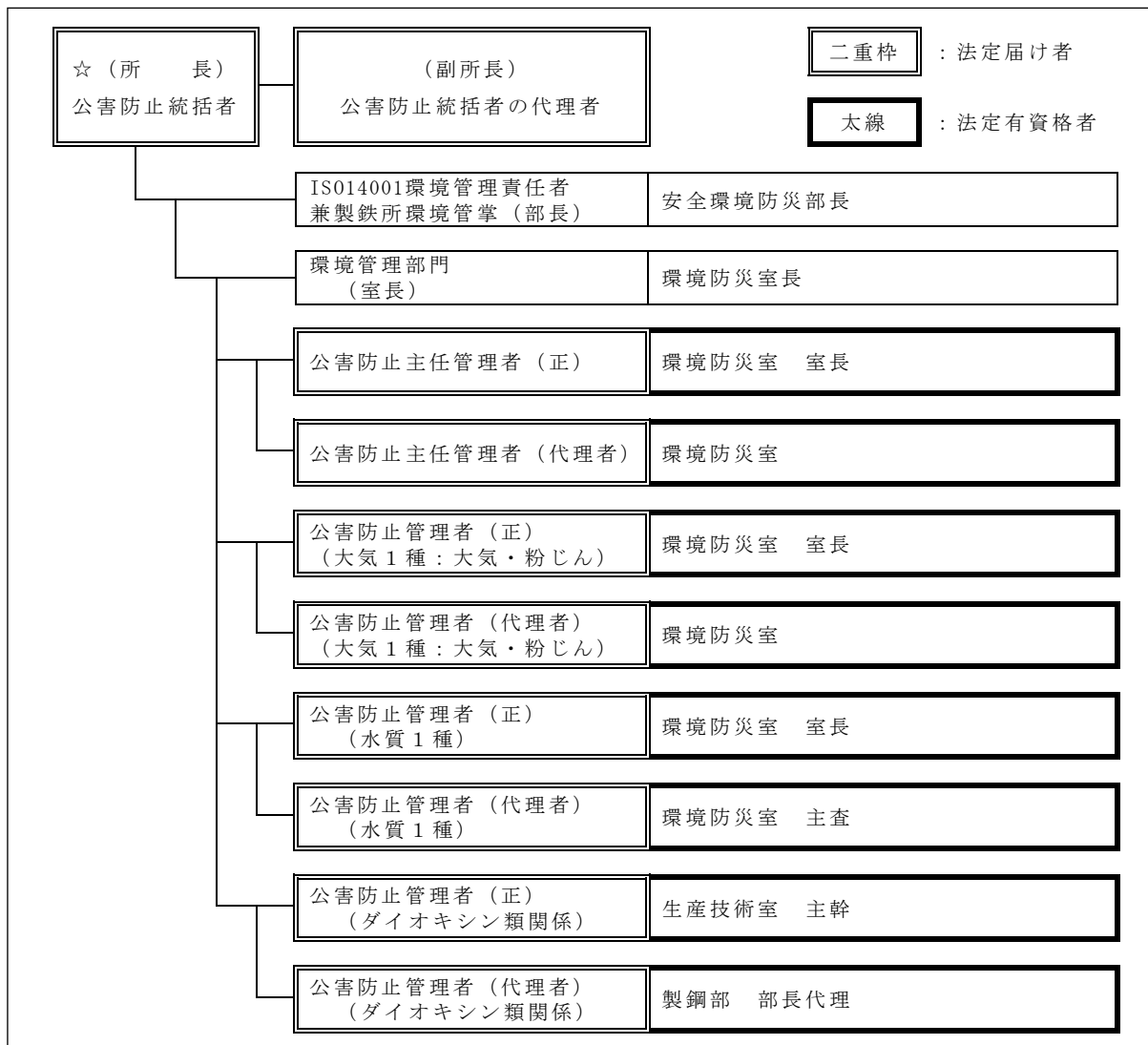
1 公害防止組織法に基づく公害防止組織

公害防止統括者	職名 氏名	瀬戸内製鉄所(広畑地区)所長
公害防止統括者の代理人	職名 氏名	副所長
公害防止主任管理者	職名 氏名	環境防災室 室長
公害防止主任管理者の代理人	職名 氏名	環境防災室
公害防止管理者 (大気1種)	職名 氏名	環境防災室 室長
公害防止管理者の代理人 (大気1種)	職名 氏名	環境防災室
公害防止管理者 (水質1種)	職名 氏名	環境防災室 室長
公害防止管理者の代理人 (水質1種)	職名 氏名	環境防災室 主査
公害防止管理者 (ダイオキシン類関係)	職名 氏名	生産技術室 主幹
公害防止管理者の代理人 (ダイオキシン類関係)	職名 氏名	製鋼部 部長代理

2 瀬戸内製鉄所広畑地区組織図 (抜粋)



3 環境管理組織の体系



2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
大気環境 保全活動	(1) 粉塵対策の継続実施 ・令和4年度対策として以下を実施 ① 製鋼地区 ア) 電気炉設備導入による環境負荷軽減 : 新規 イ) 環境設備(集塵機等)の維持管理 : 継続 ② DPR地区 ア) 粉塵発生設備の稼働体制の変更 : 2月 イ) 高所ミスト散水の24時間対応、場内散水 : 継続 ③ 石炭ヤードの発塵管理(水分、コーティング) : 継続 ④ 石炭ヤード防塵コーティング、防風ネット による発塵抑制 : 継続 ・道路散水、ヤード散水、高所ミスト散水の強化実施 ・発塵抑制対策設備の維持管理強化	・令和4年度までの対策の継続効果発揮 ・主要粉塵対策の実行 ①製鋼地区: 電気炉完全移行(SMP休止) ②DPR地区: 設備の稼働時間の大幅減 ③道路発塵対策 散水・清掃強化
	(2) 大気汚染防止法に基づくばい煙監視の体制強化 (構内他企業含む)	継続実施 構内の主要他社の環境監査実施
	(3) 排水監視機器の維持管理継続中	継続実施
排水管理 強化活動	(1) 各工場毎の模擬排水停止訓練の実施 (2) 岸壁・護岸定期パトロールの実施 (4) 構内他社の管理指導 ・環境管理部門による主要構内他社の環境監査実施	訓練は構内主要他社参加 継続実施 継続実施 継続実施
	(3) 排水監視機器の維持管理継続中	継続実施
臭気・騒 音対策	(1) 臭気対応 ・構内他社も含め臭気懸念場所の管理を徹底	継続推進
	(2) 騒音対策の企画 ・騒音発生源の調査と抑制対策の企画及び対策の推進	継続推進
廃棄物適 正処理化	(1) 所内発生物の減容化と外部処理化の推進	継続推進
	(2) 電子マニフェスト化の推進(令和4年度実績:100%)	継続推進
	(3) スラグの利用用途拡大の企画推進	継続推進
省エネ ギー活動	(1) 省エネ対策工事の着実な実行	実行中
	(2) 身近な省エネ活動の推進(業務効率化、テレワーク、WEB会議の推進)	継続中
	(3) ペーパーレス化の推進	継続中
ISO14001	(1) 内部監査の実施 ・令和4年10月~11月、全部門実施完了	令和5年10月から全部門実施予定
	(2) 本社環境部による環境監査 ・令和5年3月24日	令和6年3月本社による定期監査予定
	(3) 外部審査会社(JICQA)による更新審査完了 ・更新審査:令和4年12月20~22日→審査合格	令和6年2月定期審査予定
環境教育	(1) 環境自主学习(教育資料)を社員を対象に実施。 (6月~8月)	☆オンライン教育 ☆自主学习
	(2) 所内教育計画に基づく実施 ・年代別、階層別教育計画に基づき実施	☆継続実施
地域社会 活動	(1) 工場見学受入(コロナ影響で中止)	☆受け入れ中止中
	(2) 製鐵所周辺清掃活動:正門通(中止)。電磁門通(中止)	☆活動見合せまたは中止
	(3) 緑の町スポーツ大会:中止	
緑化対策	(1) 既存緑地の維持管理強化	継続実施

☆新型コロナ対応で活動の自粛、見合せ及び中止等の影響を受けているもの。